

第33回全日本マスターズハンドボール大会

第33回全日本マスターズハンドボール大会が8月16日(土)から17日(日)まで豊田市総合体育館(スカイホール豊田)と豊田市運動公園体育館で開かれた。

愛知県柔道整復師会からは9名の先生がお盆休みを返上して参加していただき、また今回は米田柔整専門学校の6名の学生さんが、臨時実習というかたちで、授業の一環として参加した。

自分自身も参加させていただく度に感じるのだが、やはり「マスターズのハンドボールは新鮮外傷の宝庫」不適切な表現かもしれないが、これほど柔道整復師として勉強になる救護ボランティアはなかなかないと思う。

普段教科書によく出てくる外傷は、おおむね整形外科へ受診されるケースがほとんどで、なかなか出会う機会も少なく、ここでは受傷直後の対応となり、貴重な新鮮外傷に出会える機会、「スミス骨折(疑)、前十字靭帯損傷(疑)、肋骨骨折(疑)、マレットフィンガー等」2日間、2会場で総勢110名もの選手の手当てを施行した。米田柔整の学生の皆さんも大変だったと思うが、とても良い勉強になったと思う。

また、日頃は別の先生の処置のやり方などは、拝見する機会がなかなかないのだが、一緒に活動する中で、利用者様とのコミュニケーションや、所見の取り方、検査や処置内容など、自分とは違うやり方を拝見することができる貴重な体験となり、今後の仕事に活かしていきたいと思った。

米田柔整の学生の方々は、いつも大変礼儀正しく、選手やスタッフ全員が気分良く過ごせるように配慮してくださったことにOBとして誇りを感じていらっしゃる先生もお見えになった。

このような機会は個人でなかなか参加することができないため、今後も公益社団会員としていろいろな大会に参加し、新鮮外傷に対する経験を積むことができればと思った。(岡崎支部 樋渡 啓祐)

